

答 辞

琉球大学大学院修士課程の修了を迎えるにあたり、修了生を代表してご挨拶を申し上げます。

本日は、お忙しい中、大城学長をはじめ諸先生方ならびにご来賓の皆様のご臨席を賜り、かくも盛大な修了式を開催していただきましたことを、修了生一同に代わりまして心より御礼申し上げます。

また、学位を拝領するにあたり、皆様方から御心のこもったお祝いの言葉を頂戴いたしましたことを、重ねて御礼申し上げます。

本日ももちまして、私たち修了生は、本学大学院の全課程を修了いたします。本学院入学以来、私たちはそれぞれの研究科で、自らの研究課題に日夜取り組んで参りました。

私が所属しました法務研究科においては、理論と実務の架け橋として法曹を養成するとの法科大学院制度の理念の下、研究者、実務家双方の先生方から、非常に熱心なご指導を頂き、実社会で活躍する法曹となるため必要な法理論や法的思考、実務の基礎等の習得の機会を充実した形で得ることができました。

学修するにあたって、幾度となく困難に直面し、時に立ち止まることもありましたが、そのようなとき、先生方は正しい方向へと導き、支えて下さいました。そして先生方の学問に対する姿勢や熱意を通して、多くのことを教わりました。

本日、学位を取得することができましたのは、多くの先生方の惜しみないご指導、ご鞭撻の賜物です。また、共に学び、励ましあった友人、学習環境を整えて下さった大学職員の皆様に厚く御礼申し上げます。その他私たちの大学院生活にお力添えいただいたすべての方々、そして大学院生活を支えてくれた家族に深く感謝致します。

私たち修了生は、この春からそれぞれの新たな目標に向かって歩み始めます。本大学院で学んだことを糧とし、今後も様々な知識や技術を統合して地域社会・国際社会に貢献できる人材になれるよう努力していく所存です。

結びに、琉球大学の更なる発展と、本日お集まりいただいた皆様方のご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げ、答辞とさせていただきます。

平成三十一年三月二十日

修了生代表

法務研究科

伊集 朝也